



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5957 URL <https://www.nittoseiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 材木 正己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部門担当 (氏名) 松本 真一 TEL (0773) 42-3111  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,684	18.8	668	69.2	746	94.9	448	97.7
2020年12月期第1四半期	8,149	△3.0	394	△45.5	383	△49.5	227	△55.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 936百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △236百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	12.19	—
2020年12月期第1四半期	6.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	48,443	30,749	56.6
2020年12月期	46,222	29,858	58.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 27,432百万円 2020年12月期 26,868百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	4.00	—	4.50	8.50
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	19,600	23.4	1,400	145.9	1,500	138.7	900	156.0	24.37
通期	38,000	15.5	2,400	84.1	2,600	83.3	1,600	109.2	43.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	39,985,017株	2020年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	3,048,988株	2020年12月期	3,166,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	36,836,501株	2020年12月期1Q	36,797,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国で新型コロナウイルスの収束に向け、経済活動の抑制などによる防疫措置が図られる中、感染力の強い変異ウイルスが流行し、欧州を中心に外出行動の抑制が強化されるなど、引き続き厳しい状況となりました。一方、財政政策の拡張や金融緩和政策により、一部の国や業界においては回復基調となりました。わが国においても、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、首都圏・関西圏を中心に緊急事態宣言が再発令されるなど、経済の回復時期は不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission "G" (2019年～2022年)」のもと、新規事業である医療分野において、京都府の支援を受け、大学などと共同で世界初となる生体内で溶解吸収される期間を制御できる純マグネシウム材料「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」を開発するなど、事業領域を拡充するための施策を積極的に展開してまいりました。また、グループ従業員の健康と安心安全を重視した健康経営に継続的に取り組み、経済産業省と東京証券取引所から、「健康経営銘柄2021」に選定されました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は96億8千4百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は6億6千8百万円（前年同期比69.2%増）、経常利益は7億4千6百万円（前年同期比94.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千8百万円（前年同期比97.7%増）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「メディカル事業」を追加したことに伴い、報告セグメントを従来の「ファスナー事業」、「産機事業」及び「制御事業」の3区分から、「ファスナー事業」、「産機事業」、「制御事業」及び「メディカル事業」の4区分に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## &lt;ファスナー事業&gt;

当事業につきましては、精密ねじは、コロナ禍における外出自粛を背景にゲーム機やパソコン向けの需要が好調に推移しました。一般ねじは、新しい生活様式として注目される自転車や家で過ごす時間で利用される電動工具の他、電子制御の進化に伴い、自動車関連業界において、車載用ECU向けの需要が大きく増加しました。

このような状況のもと、コロナ後の更なる需要の拡大を見据え、異種金属接合「AKROSE」や「AKROSE HYBRID」、高精度で大量生産を可能にした「ギヤ部品」などの販売促進に加え、生産設備の増強と生産性向上に取り組みました。また、締結部材の反りや圧入箇所の変形を軽減しつつ、回り止め強度を得ることができる「新型クリンチングスタッドボルト」を開発し、新たな需要の拡大に努めました。

この結果、売上高は69億4千8百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は4億1百万円（前年同期比536.2%増）となりました。

## &lt;産機事業&gt;

当事業につきましては、中国において、各地の自動車の購入促進政策を背景に、自動車関連業界の設備需要が好調に推移しました。国内は、自動車のCASEに関わる設備や、住宅関連設備の需要が増加しましたが、コロナ前の水準までの回復には至らず、事業環境は標準機・自動組立ライン共に厳しい状況となりました。

このような状況のもと、従来の対面での販売活動に加え、バーチャル展示会や当社ホームページを利用し、協働ロボット専用ねじ締めツールや単軸ねじ締めユニットIoT対応モデルなどの動画を配信し、幅広い業界の需要喚起に努めました。また、製造工程におけるねじ送り検査装置を開発し、生産性向上と品質管理の強化を図りました。

この結果、売上高は14億1百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益は2億1千万円（前年同期比40.8%減）となりました。

## &lt;制御事業&gt;

当事業につきましては、流量計は、コロナ禍における消毒液やインスタント食品の需要増加を背景に医薬品業界や食品業界で堅調に推移しました。一方、主な需要先である造船業界では、生産体制の効率化を目的とした企業の再編が進み、市場が縮小するなど、事業環境は厳しい状況となりました。システム製品は、ものづくり補助金を利用した省人化設備の需要が増加しました。地盤調査機「ジオカルテ」は、都市部を中心に住宅需要が回復し好調に推移しました。

このような状況のもと、地盤調査機「ジオカルテ」のスマートフォン用通信アプリを開発し、利便性向上による需要の拡大に努めました。また、子会社において、水分計のコントローラーを共有することで水分測定と電位差測定など、同時に複数の分析を可能にする自動滴定装置「GT-310」を市場に投入しました。

この結果、売上高は13億1千9百万円（前年同期比205.4%増）、営業利益は5千8百万円（前年同期は営業損失2千4百万円）となりました。

## &lt;メディカル事業&gt;

当事業につきましては、医療用照明器「フリーレッド」など、需要は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大による医療資源の不足、医療機関への訪問自粛など、事業環境は厳しい状況となりました。

このような状況のもと、限られた医療機関に対する販売活動により、「フリーレッド」の臨床試用の需要拡大に努めました。また、「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の開発に成功し、製品化に向けた取り組みを推進しました。

この結果、売上高は1千4百万円（前年同期比84.2%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22億2千1百万円増加し、484億4千3百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億7千万円、受取手形及び売掛金が5億4千3百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億2千9百万円増加し、176億9千4百万円となりました。これは主に、電子記録債務が7億2千万円、支払手形及び買掛金が7億1千4百万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億9千1百万円増加し、307億4千9百万円となりました。これは主に、非支配株主持分が3億2千7百万円、利益剰余金が2億8千1百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の第2四半期累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）の業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日（2021年5月12日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,287,052	10,057,208
受取手形及び売掛金	8,027,676	8,571,409
電子記録債権	2,515,482	2,591,205
有価証券	—	149,305
商品及び製品	2,503,691	2,783,190
仕掛品	2,181,590	2,420,418
原材料及び貯蔵品	2,231,370	2,324,563
未収入金	724,253	781,266
その他	239,134	467,663
貸倒引当金	△5,722	△7,331
流動資産合計	27,704,529	30,138,901
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,618,797	3,605,115
機械装置及び運搬具(純額)	2,334,199	2,616,925
土地	5,285,690	5,311,354
建設仮勘定	1,208,096	951,984
その他(純額)	486,438	492,667
有形固定資産合計	12,933,221	12,978,047
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	406,178	444,284
のれん	647,406	624,939
顧客関連資産	80,675	76,500
技術関連資産	271,950	264,600
その他	15,690	10,898
無形固定資産合計	1,421,900	1,421,222
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,820,031	1,618,564
繰延税金資産	828,006	758,031
退職給付に係る資産	884,154	897,085
長期預金	80,000	80,000
その他	551,433	552,554
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	4,162,626	3,905,235
固定資産合計	18,517,748	18,304,506
資産合計	46,222,277	48,443,407

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,054,768	4,769,730
電子記録債務	2,619,652	3,340,370
短期借入金	2,847,302	2,732,945
未払金	237,115	241,837
未払法人税等	407,441	290,306
賞与引当金	182,064	436,595
その他	1,269,967	1,173,504
流動負債合計	11,618,312	12,985,291
固定負債		
長期借入金	897,501	942,661
役員退職引当金	83,992	87,164
役員株式給付引当金	40,488	44,113
繰延税金負債	437,701	419,986
退職給付に係る負債	2,681,596	2,624,590
その他	604,657	590,432
固定負債合計	4,745,937	4,708,949
負債合計	16,364,250	17,694,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,637,467	2,670,306
利益剰余金	22,565,069	22,846,638
自己株式	△1,279,736	△1,252,818
株主資本合計	27,445,380	27,786,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,514	112,539
為替換算調整勘定	△597,824	△405,095
退職給付に係る調整累計額	△65,749	△61,847
その他の包括利益累計額合計	△577,058	△354,402
非支配株主持分	2,989,706	3,316,863
純資産合計	29,858,027	30,749,166
負債純資産合計	46,222,277	48,443,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,149,712	9,684,399
売上原価	6,323,922	7,349,452
売上総利益	1,825,790	2,334,947
販売費及び一般管理費	1,430,974	1,666,728
営業利益	394,815	668,218
営業外収益		
受取利息	10,113	7,410
受取配当金	2,900	2,192
受取賃貸料	22,689	23,651
為替差益	—	46,212
持分法による投資利益	1,662	8,437
その他	75,395	38,768
営業外収益合計	112,761	126,673
営業外費用		
支払利息	6,790	5,530
賃貸収入原価	17,077	21,154
為替差損	43,655	—
有価証券評価損	44,666	—
その他	12,127	21,246
営業外費用合計	124,317	47,931
経常利益	383,259	746,960
特別利益		
固定資産売却益	—	1,239
投資有価証券売却益	—	121,762
特別利益合計	—	123,002
特別損失		
固定資産処分損	1,899	1,832
特別損失合計	1,899	1,832
税金等調整前四半期純利益	381,360	868,129
法人税、住民税及び事業税	110,427	243,794
法人税等調整額	20,021	29,078
法人税等合計	130,449	272,872
四半期純利益	250,911	595,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,815	146,360
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,095	448,896

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	250,911	595,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,917	27,483
為替換算調整勘定	△418,353	309,594
退職給付に係る調整額	4,410	3,902
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,883	165
その他の包括利益合計	△487,743	341,145
四半期包括利益	△236,832	936,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,533	671,552
非支配株主に係る四半期包括利益	△56,299	264,850

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症については、政府の緊急事態宣言等で厳しい状況が続いており、収束時期や再拡大の可能性等を正確に予測することは困難ではありますが、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々に回復していくと仮定し、のれんを含む固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。今後の実際の推移がこの仮定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	ファスナー	産機	制御	メディカル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	6,088,284	1,621,596	432,198	7,633	8,149,712	8,149,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,088,284	1,621,596	432,198	7,633	8,149,712	8,149,712
セグメント利益又は損失(△)	63,038	356,500	△24,788	65	394,815	394,815

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	ファスナー	産機	制御	メディカル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	6,948,837	1,401,734	1,319,770	14,056	9,684,399	9,684,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,948,837	1,401,734	1,319,770	14,056	9,684,399	9,684,399
セグメント利益又は損失(△)	401,061	210,974	58,296	△2,113	668,218	668,218

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「ファスナー事業」に含まれていた医療機器の製造・販売を行う「メディカル事業」について、新たな事業の柱としての将来の量的重要性及び質的重要性を考慮し、報告セグメントとして記載する方法に変更し、報告セグメントを従来の「ファスナー事業」、「産機事業」及び「制御事業」の3区分から、「ファスナー事業」、「産機事業」、「制御事業」及び「メディカル事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。